令和５年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立戸出西部小学校

具体的な達成目標

○学校が楽しいと感じる子供	９０％以上（自己評価・他者評価）
○授業で「分かった」「できた」と感じる子供	８０％以上（自己評価・他者評価）

前年度

前年度は、重点目標を達成するための行動計画として「進んで挨拶のできる子供」「自分の思いや考えを伝える子供」を掲げて取り組んできた。今年度は、児童理解に基づいた学級づくりと授業づくりに焦点を当て、児童一人一人に寄り添うことで、安心して学べる環境づくり、「分かった」「できた」と感じる学習過程の工夫に取り組みたい。

行動Ⅰ

学校が楽しいと感じる子供

①教師の働きかけ
・児童一人一人の行動や発言の背景を捉えた児童理解
②児童理解に基づいた学級づくり
③児童理解に基づいた授業づくり
④あったか教育の推進

授業で「分かった」「できた」と感じる子供

①興味・関心を引き出す教材提示の工夫
②必要感のある学習課題の設定
③成長を実感できる振り返りの場の設定
④学習専用端末の効果的な活用

中間評価

中間評価
・日常の児童の様子や授業の振り返り、自己評価カード、保護者アンケート等を基に目標の達成状況を把握する。
・評価結果（集計及び考察）を学校だよりや保護者会等で公表する。
・学校評議員会等において意見を求める。

評価結果を分析し、目標値の変更や、具体的な改善策を検討する。

行動Ⅱ

①～③の継続
④学級目標を基に、自分たちの生活を見直す学級会
⑤あったか活動の見直し
⑥学校だより等を使った家庭への啓発

①～④の継続
⑤指導方法の見直し、授業改善

年度末評価

年度末評価
・児童、保護者、教職員を対象に学校評価に関するアンケートを実施し、目標の達成状況を把握し、前回の調査結果との比較を行い考察する。
・達成状況や取組の様子を学校だよりや保護者会等で公表する。

次年度

年度末評価結果を、次年度の重点目標にどのように生かしていくか記す。